

天草家保通信平成26年5月号

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
 ホームページアドレス <http://www.pref.kumamo.jp/site/amakusa-1219>
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



高病原性鳥インフルエンザの終息宣言をしました！

4月13日に球磨郡多良木町および相良村で発生した高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）は、発生農場における清浄性確認検査や周辺農場での検査などでいずれも陰性を確認したことから、5月8日に蒲島知事からHPAIの終息が宣言され、全ての移動制限や消毒ポイントが解除されました。現在は発生農場におとりの鶏を設置し、環境中にウイルスがないか検査を実施しています。

防疫対策に当たっては天草管内でも様々な方にご協力していただきました。大変ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今回、養鶏関係者だけでなく、牛や豚農家のみなさんの中にも農場の防疫体制を見直した方はいらっしゃったのではないのでしょうか。今回の発生や2011年の宮崎県での口蹄疫を時間の経過とともに風化させないようにすることが重要です。近隣諸国では口蹄疫や豚コレラが発生しており、依然として注意が必要です。

県では毎月20日はくまもと家畜防疫の日と設定していますので、特にその日は意識的に畜舎等の洗浄・消毒の徹底などの対策をお願いします。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	モンゴル	3月6日	牛 羊	○
	北朝鮮	3月14日	牛	○
	中国	4月3日	牛	○
高病原性 鳥インフルエンザ	韓国	3月6日～4月21日	種鶏 がちょう	H5N8
	北朝鮮	3月21日～4月10日	鶏 がちょう	H5N1亜型
	台湾	4月15日	地鶏	H5N2
低病原性 鳥インフルエンザ	中国	3月8日～3月14日	家きん	H7N9
		4月23日	家きん	H5N6
小反芻獣疫	中国	12月5日～4月5日	山羊 羊	-

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」



異常産ワクチンを接種しましょう

アルボウイルスによる異常産
関節の拘縮、脊柱の湾曲



上図：動物衛生研究所HPから抜粋
下図：県内での発生事例

牛ウイルス性異常産は母牛が妊娠中に病原体に感染することで流死産や奇形などを引き起こします。病原体としてはヌカカなどの吸血昆虫が媒介するアルボウイルス(アカバネ・アイノ・チュウザンなど)が一因として挙げられます。

家畜保健衛生所では、牛ウイルス性異常産の発生を予防するため、吸血昆虫が活動する夏から秋に子牛(延320頭：80頭×4回、6月・8月・9月・11月)を対象として抗体検査を行い、アルボウイルスの流行状況を調査しています。

平成25年度の調査では熊本県ではアカバネウイルス抗体の陽転が9月に15頭(18.8%)、11月に8頭(10%)で認められました(図1)。このことから8月以降にアカバネウイルスの動きがあったと考えられ、その後1月には管内でアカバネ病が発生していることから、今後もアカバネウイルスによる異常産には注意が必要です。

また、熊本県以外の九州・山口各県においても、9月以降にアカバネウイルス抗体の陽転が確認されています(図2)。このように九州各県でアカバネウイルスの動きが見られたのは、平成20年以來のことであり、実際に福岡県・宮崎県・鹿児島県ではアカバネ病の発生が報告されています。

ウイルスによる異常産は母牛へのワクチン接種で予防することができます。吸血昆虫が発生する前(4~6月)にワクチンを接種しましょう。

病気やワクチンについて詳しいことは、天草家畜保健衛生所または天草自衛防疫促進協議会(22-0277)までお問い合わせください。

図1 熊本県における
アカバネウイルス陽転時期(H25)

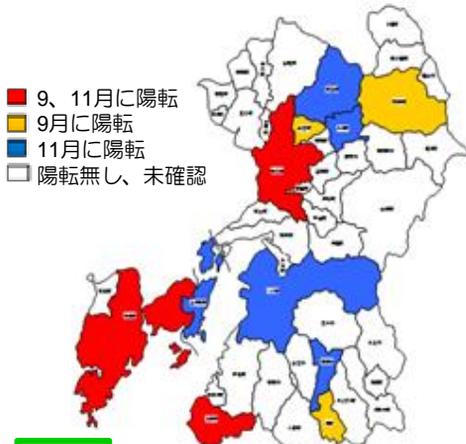
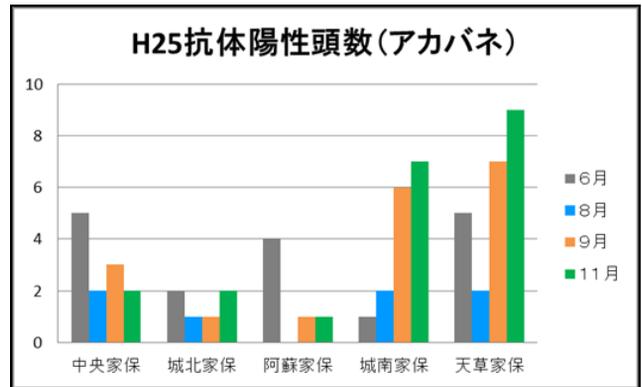


図2 九州・山口各県の抗体陽転頭数(アカバネウイルス)



	山口	福岡	佐賀	長崎	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
6月	なし	なし	なし	なし	なし	なし	—	—
8月	なし	なし						
9月	なし	1頭	2頭	2頭	2頭	なし	7頭	なし
10月	—	—	—	—	—	—	4頭	—
11月	1頭	2頭	4頭	7頭	5頭	—	10頭	—

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668